

基礎看護学

《著書》

1 . 欧文

1) Kobayashi, Y.: Vasodilatory effects of a fish-origin novel human peptide, adrenomedullin 2 in porcine vasculature. *IN Comparative endocrinology and biodiversity in asia and oceania*, Eds. by Tangpraputgul, P., Malaivijitnond, S., Chanchao, C., Kitana, N. pp65-69. Chulalongkorn University Press. (Bangkok) (2006)

2) Yuko Tsumoto and Shusaku Tsumoto : Mining Hospital Management Data using R, Chance Discoveries in Real World. *Decision Making: Data-based Interaction of Human intelligence and Artificial Intelligence*, Studies in Computational Intelligence, Eds by Yukio Ohsawa, Shusaku Tsumoto : pp.393-404. Springer (2006)

3) Yuko Tsumoto and Shusaku Tsumoto : Analysis of Hospital Management Data using Generalized Linear Model. *Complex Medical Engineering*, Eds. by Jinglong Wu , Hidenao Fukuyama, Mamoru Mitsuishi, Koji Ito , Shozo Tobimatsu , Toyooki Nishida Springer, (2006)

2 . 和文

1) 内田宏美、桑原安江：実践から学ぶ病院リスクマネジメント、診断と治療社、2005

《学術論文》

1 . 欧文

1) Wang tao, Kobayashi Yuta, Nabika Toru, Takabatake Toshiikazu : Enhanced Sympathetic Control of Renal Function in Rats Congenic for the Hypertension Related Regionb on Chromosome 1 *Clinical & Experimental Pharmacology & Physiology* 32:

1055-1060. (2005)

2) Yukako Hatanaka, Narumi Hobara, Honghua Jin, Shinji Akiyama, Hideki Nawa, Yuta Kobayashi, Fusako Takayama Yutaka Gomita and Hiromu Kawasaki : Neuronal nitric oxide synthase (NOS) inhibition facilitates adrenergic neurotransmission in rat mesenteric resistance arteries J. Pharmacology and Experimental. Therapeutics. 216(2) 490-497 (2006)

2. 和文

1) 深田美香、松田明子、伊藤靖代、笠城典子、南前恵子、内田宏美：臨床実習における基礎看護技術教育プログラムの検討、米子医学雑誌、56 巻、141-149、2005

2) 伊藤靖代、深田美香、松田明子、笠城典子、南前恵子、内田宏美：臨床実践能力育成のための看護技術教育プログラムの評価 - 演習記録の分析をとおして -、米子医学雑誌、56 巻、158-163、2005

3) 内田宏美：看護者の責任 医療リスクマネジメントにおいて看護職に期待される役割と課題、生命倫理、16 号、51-58、2005

4) 小林 裕太、崔 宗虎、並河 徹：本態性高血圧症の遺伝的背景 [交感神経系による血圧調節-最近の進歩-] 血圧. 12(6) 636-640 (2005)

5) 長田京子、池田明子：わが国の「患者 - 看護師関係」に関する研究の動向、島根大学医学部紀要 28:21-29, 2005.

6) 長田京子、渡辺岸子、鳴海喜代子、今野裕之、清正 巖、堀洋道：入院患者の心理的負債感に関する研究の動向、新潟大学医学部保健学科紀要 8(1): 85-90, 2005.

7) 津本優子、徐秀英、佐原淑子、福間美紀、内田宏美：リスクマネジメント・システム制度化の課題 - 山陰における看護師の意識調査から -、島根大学医学部紀要、第 28 巻、7-15、2005

- 8) 高見美樹、石垣恭子、古賀美紀、岡崎美智子、臼井麻里子、佐原淑子、水流聡子、原由行、佐々木滋人：長期療養型病床群における看護観察指示システムへの標準患者観察マスターの実装と評価．医療情報学 24(6)；631-637、2005.
- 9) 永島早苗、岩倉良子、真壁法子、渡部ひとみ、野々村美穂、古賀美紀：小豆を使用した温罨法の快適性および持続性の検討．松江市立病院医学雑誌 9(1)；23-26、2005.
- 10) 北川かほる、岡崎美智子、古賀美紀：開眼状態におけるたし算・音楽刺激が及ぼす生理的反応 脳波の周波数解析から．日本看護研究学会雑誌 28(1)；115-120、2005.
- 11) 李頌華、曾昭明、田丸直美、佐藤正人、王如偉、岩崎純夫、小林裕太：重症アトピー性皮膚炎 65 症例における複方苦参（内服および外用）の治療効果．中医臨床、27(2)：214-220．(2006)
- 12) 川上浩平、河本舞、堀江哲史、三原安経、野村正人、山田高也、小林裕太、大谷浩：室内環境におけるフィトンチッドの消臭効果の検討 環境管理技術、24(5)：17-22、(2006)
- 13) 長田京子：看護場面の再構成を用いた研修 2 ヶ月後の看護活動の変化に関する看護師の自己評価．日本医学看護学教育学会誌 15，59-65，2006．
- 14) 福間美紀，津本優子，内田宏美，佐原淑子，樽井恵美子，長田京子：看護基礎教育における模擬患者を導入した看護過程の教育効果とその課題，島根大学医学部紀要 29：15-21，2006．
- 15) 鳴海喜代子，長田京子，渡辺岸子，石川みち子：患者と看護師間における援助行動に関する研究 - 術後患者の面接調査の分析から - 武蔵野大学看護学部紀要 1:3-17，2006.

《報告書・その他の論文》

1．欧文

1) Kobayashi, Y., Hobara, N., Kawakami, K., Cui Z-H., Kawasaki, H. and Nabika, T.: Catecholamine concentration in congenic rat strain for the hypertension related region on chromosome 1. *Clinical and Experimental Hypertension* 26 417-418 (2005)

2) Kobayashi Yuta, Kawasaki Hiromi, Nabika Toru: Sympathetic Activation in Vasculature of the Congenic Rat Strains for the Hypertension-related Region on Chromosome 1 *Clinical and Experimental Hypertension* 26(7) 551 (2005)

2. 和文

1) 深田美香、南前恵子、笠城典子、松田明子、伊藤靖代、内田宏美：臨床実践能力育成のための看護技術教育プログラムの開発および評価、平成 16 年度鳥取大学教育・研究改善推進費（学長裁量経費）実施報告書、2005 年 3 月

2) 嶋森好子他：医療事故防止のためのヒヤリ・ハット事例等の記述情報の分析に関する研究報告（内田宏美、佐藤ミヨ子、井上彰啓、北澤直美、梅沢昭子：食事・栄養に関する事例）；厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業，2005 年 3 月

3) 奥井祐子、米山綱雄、橋本龍樹、小林裕太、大谷 浩：マウス大脳における透過電子顕微鏡極低倍観察 生理学・生物学技術研究会報告 27：134-135 (2005)

4) 塩飽邦憲、馬場隆、樽井恵美子、日比谷健司、北島桂子、山崎雅之：認知症(痴呆症)高齢者への多様なサービスモデル構築と効果的運用に関する研究、厚生労働省老人保健健康増進等事業共同研究報告書 全 31 頁，2005

5) 佐藤和美、田邊洋子、小林裕太、浅井正俊、富岡治明：遺伝子実験講習会の開催に向けた技術的検討 生理学・生物学技術研究会報告 28：104-105 (2006)

6) 嶋森好子：ヒヤリ・ハットや事故事例の分析による医療安全対策ガイドライン作成に関する研究 平成 17 年度総括研究報告書（内田宏美・佐藤ミヨ子・幣憲一郎・酒井美絵子：6. 食事・栄養に関する事故防止のための安全対策ガイドライン）；厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業，2006,3

7) 小林裕太、丁 敏、福島正充：ニコチン依存の形成に關与する要因の研究
ニコチン依存の形成と血中ニコチンおよびその代謝物との關連-ニコチンの身
体的依存および心理的依存評価表の作成 平成 16 年度喫煙科学研究財団
研究年報 899-904. (2005)

8) 小林裕太、福島正充：ニコチン依存の形成に關与する要因の研究 ニコチ
ン依存の形成と血中ニコチンおよびその代謝物との關連-ニコチンの身体的依
存および心理的依存評価表の検討 平成 17 年度喫煙科学研究財団研究年報
829-834. (2006)

《学会発表》

1 . 国際

1) Kobayashi Yuta, Takei Yoshio : Mammalian coronary vasodilation to a novel
fish-origin peptide, adrenomedullin 2 : The 15th International Congress on
comparative Endocrinology Boston USA (2005 May)

2) Kobayashi Yuta : Vasodilatory effects of a fish-origin novel human peptide,
adrenomedullin 2 in porcine vasculature. The Fifth Intercongress Symposium of
the Asia and Oceania Society for Comparative Endocrinology. Bangkok
Thailand (2006 March)

3) Yuko Tsumoto and Shusaku Tsumoto : Construction of Statistical Models for
Hospital Management, UseR! 2006, Vienna (2006 June)

4) Kobayashi Yuta : Effects of environmental accumulating industrial material,
perfluorooctanesulfonate (PFOS) in isolated rat arteries. The Fifteenth World
Congress of Pharmacology Beijing (2006 July)

5) Kobayashi Yuta, Stroke-prone spontaneously hypertensive rat arteries for the
investigation on the toxicity of the environmental accumulating materials,
perfluorooctanesulfonate (PFOS): The 12th International Symposium on SHR
-Genetics of experimental and human hypertension in relation with environmental
factors Kyoto (2006 October)

6) Kamei T., Murata K., Toriumi, Y., Kobayashi Y., Iwata K. and Fukumoto I Effect of processed rice with brown rice extract on serum cholesterol level: 2nd International Symposium on Lifestyle Related Diseases Perspectives for Primary Prevention and Treatment in Animal Models and Humans Nishinomiya (2006 October)

2 . 国内

1) 奥井祐子・米山綱雄・橋本龍樹・小林裕太・大谷 浩：マウス大脳における透過電子顕微鏡極低倍観察 第 27 回生理学技術研修会 2005 2 月 岡崎

2) 小林裕太：ラット摘出血管におけるパーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) の収縮作用 第 78 回日本薬理学会 2005 3 月 横浜

3) 伊藤靖代、内田宏美：山陰における看護師のリスクマネジメントに対する意識、日本看護研究学会中国・四国地方会第 18 回学術集会、2005.3.12-13、出雲市

4) 南前恵子、石倉弥生、宮脇美保子、深田美香、松田明子、笠城典子、内田宏美：山陰地方の病院における清潔ケアの実態、日本看護研究学会中国・四国地方会第 18 回学術集会、2005.3.12-13、出雲市

5) 小林裕太：難分解性環境蓄積物質パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) のラット摘出血管における収縮作用 日本動物学会中国四国支部大会 2005 5 月 岡山

6) 小林裕太：新規ヒトペプチドアドレノメデュリン 2 の冠血管拡張作用について 第 28 回日本基礎老化学会 2005 6 月 東京

7) 内田宏美、谷垣静子、南前恵子、深田美香、北川かほる、松浦治代、平井由香：ヘルスアセスメント実践能力を培う「看護学ゼミナール」 - 学生の授業評価からみた 3 年間の方法構築とその成果 - 、日本看護学教育学会第 15 回学術集会、2005.7.23-24、大宮市

8) 魚谷節子、岡崎美智子、津本優子：特定機能病院の救急医療現場における看護師の葛藤に関する研究、第 31 回日本看護研究学会学術集会、2005.7、札

幌

9) 高見美樹、石垣恭子、古賀美紀、岡崎美智子、臼井麻里子、佐原淑子、水流聡子、原由行、佐々木滋人：長期療養型病床群における看護観察指示システムの構築とその評価．医療情報学 24 (6); 566、7、2005.

10) 内田宏美：施設規模別に見たリスクマネジメント制度化の課題、第9回日本看護管理学会年次大会、2005.8.19-20、神戸市

11) 倉鋪志子、岩崎初美、伊藤靖代、内田宏美：看護師の転倒転落に対する危険認識の実態、第36回日本看護学会（老年看護）、2005.9.15-16、鳥取市

12) 小林裕太・劉穎菊・兵藤晋・権田辰夫・竹井祥郎：アドレノメデュリン 2 のブタ冠血管拡張作用 日本動物学会第75回大会 2005 10月 筑波

13) 小林裕太：パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) のラット摘出血管収縮作用 第108回日本薬理学会近畿部会 2005 11月 西宮

14) 小林裕太：パーフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) のラット摘出血管収縮作用 第58回日本薬理学会西南部会 2005 11月 長崎

15) 内田宏美：食事栄養管理におけるリスクマネジメント．第21回日本静脈経腸栄養学会（ランチョンセミナー講演）、2006.1.25-27、岐阜．

16) 佐藤 和美、田邊 洋子、小林 裕太、浅井 正俊、富岡 治明：遺伝子実験講習会の開催に向けた技術的検討．第28回生理学技術研修会 2006 2月 岡崎

17) 李 頌華、小林 裕太、田丸 直美、王 如為、岩崎 純夫：重症アトピー性皮膚炎 64 例における新規中医処方薬複方苦参の治療効果 第79回日本薬理学会 2006 3月 横浜

18) 長田京子：自らの死別体験を探索する演習の教育効果．第16回日本医学看護学教育学会学術集会、香川、2006年3月

19) 飯塚(小野田)舞：がん看護に携わる看護師の“燃え尽き”の実態、日本医学看護学教育学会第16回学術学会、2006.3.11-12、香川

20) 李 頌華、小林 裕太、田丸 直美、王 如為、岩崎 純夫：重症アトピー性皮膚炎における中医処方薬の治療効果 第11回島根中医学会 2006 5月 出雲市

21) 丁 敏、小林裕太：ラット腸間膜動脈の神経支配 日本動物学会中国四国支部大会 2006 5月 愛媛

22) 小林裕太、王涛、並河徹：第1染色体高血圧連鎖領域を有するコンジェニクラット血管及び腎臓の交感神経 第29回日本基礎老化学会 2006 6月 長崎

23) 福間美紀、佐原淑子、内田宏美、津本優子、長田京子、樽井恵美子：模擬患者を導入した看護過程の学習による学生の学び . 日本看護学教育学会 第16回学術集会(一般演題) 2006,8.5-6, 名古屋.

24) 津本優子、佐原淑子、福間美紀、長田京子、樽井恵美子、岡崎美智子、内田宏美：模擬患者とのロールプレイを取り入れた看護過程の演習による学生の理解度 - 紙上展開との比較 - . 日本看護学教育学会 第16回学術集会(一般演題) 2006,8.5-6, 名古屋

25) 内田宏美、佐原淑子、福間美紀、原 徳子：看護職リスクマネージャーのパワー構造の質的分析 . 第10回日本看護管理学会年次大会(一般演題) 2006,8.25-26, 東京

26) 原徳子、内田宏美、津本優子、佐原淑子：中堅看護師の自己教育力 . 第10回日本看護管理学会年次大会(一般演題) 2006,8.25-26, 東京

27) 小林裕太：ニコチンの身体的依存と心理的依存 第59回日本薬理学会西南部会 2006 11月 沖縄

28) 内田宏美：組織で取り組むリスクマネジメント, 第39回中国四国医学検査学会(特別企画講演), 2006,11.3-4, 鳥取

29) 内田宏美、佐藤ミヨ子、幣憲一郎、酒井美絵子、井上彰啓、梅沢昭子、北沢直美、嶋森好子：食事・栄養に関連したリスクマネジメントの視点と課題 ヒヤリ・ハット事例の分析と事故防止ガイドラインの作成を通して , 医療の

質・安全学会 第1回学術集会，2006,11.23-24，東京

30) 江角真由美，伊達山美保，小草孝子，佐藤由美子，長田京子：看護師の対人関係能力研修の教育効果，第42回日本赤十字社医学会総会，京都，2006年11月

31) 津本優子、矢田昭子、内田宏美、佐々木順子：学内LANを利用した看護学実習評価システムの構築 看護技術の体験頻度の検討 .第26回医療情報学連合大会、2006.11、札幌

32) 長田京子，鳴海喜代子，渡辺岸子，石川みち子：医療者に対する患者の援助要請の生起要因についての検討，日本看護科学学会第26回学術集会，神戸，2006年12月